

2026年3月1日より次期情報総合センターシステム（2025年システム）が稼働予定です。

次期科学技術計算システム（SCS2025）について（概要）

AFFRIT2025system

現在ご利用いただいている科学技術計算システム（SCS2021）は、今年度の2月末をもって稼働を終了し、3月1日より新しい科学技術計算システム（SCS2025）が稼働開始となる予定です。

次期システムでは、1ノードあたりの性能が大幅に向上しており、これに伴い計算能力も現行システムと比較して大きく強化されています。そのため、より多様で高度な計算ニーズに対応可能となっています。

また、初心者の方でも安心してご利用いただけるよう、専門的な知識がなくても簡単に操作できる設計となっております。これにより、科学技術計算を活用した研究活動の裾野がさらに広がることが期待されます。

次期システムの概要については以下のとおりです。

<主な変更点>

◎SCS2025で新規に導入する機能・サービス

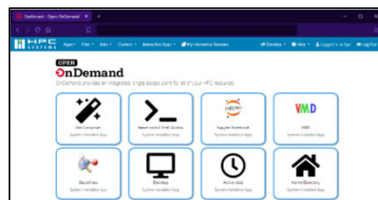
- ・Open OnDemandを導入し、皆様のウェブブラウザから画面操作で簡単にスパコン環境へ接続し、利用可能となります
- ・ノードあたりの性能を大幅に向上させ、計算速度・拡張性、多様なアプリケーションのサポートを充実させます（ノード数は減少）
- ・ストレージ容量を増強し、より大容量な計算・データの保持に対応します
- ・ArcGIS Proの導入開始・エクステンションを拡充します（2027年度～）
- ・セミナーの回数・種類を増加します（従来のプログラミングセミナーのほかアプリケーション利用セミナーも実施予定です）
- ・利用者登録が別途必要になります

（※これまでに登録済の方は別途ご案内いたします）

◎SCS2021で提供を終了するサービス

以下のサービス提供は今年度で終了となります。

- ・農林基礎数値データベース（NDB）のウェブページでの提供
- ・ANSYS FLUENT
- ・FieldView
- ・Pointwise
- ・Maple



Open OnDemandのイメージ図（※実際のもとは異なる場合があります）
引用：https://www.hpc.co.jp/product/software/open-ondemand/



◆次期科学技術計算システム（SCS2025）の紹介◆

<https://itcweb.cc.affrc.go.jp/affrit/inside/scs2025/intro>

次期ネットワークサービスシステム（NSS2025）について（続報）

AFFRIT2025system

現在ご利用いただいているネットワークサービスシステム（NSS2021）は今年度の2月末で役割を終え、3月1日からは次期ネットワークサービスシステム（NSS2025）が稼働する予定です。NSS2025では、長らくご利用いただいた @affrc.go.jp のメールのサービスを終了するなど、大きく様変わりいたします。

利用者の皆様へ向けて、メールサービスの終了に伴う移行の手順や、NSS2025で変わる事のご案内ページを公開しておりますので、ぜひご確認ください。

これまで取り扱いについて検討事項が残っていた農林水産省の職員のメールの移行や、MLなどに残った affrc のアドレスの取り扱いなどについてご案内を追記しております。今後も適宜情報を追加いたしますので、ご確認をお願いいたします。



◆次期ネットワークサービスシステム（NSS2025）について◆

<https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/help/nss2025/start>



ニュースはWebで
発信しています。

AFFRIT Portal » 農林水産研究情報総合センターニュース
<https://itcweb.cc.affrc.go.jp/affrit/inside/publications/affrit-news/start>

トピックス:

ソフトウェアの
サポート終了
について

2025年11月11日
Windows11 23H2
Home, Pro

2025年11月30日
Acrobat 2020
Acrobat Reader (2020)

上記日程でサポート
終了が予定されている
方はアップデート等
をご検討ください。